

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年4月14日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103482		
法人名	特定非営利活動法人 介護企画あき		
事業所名	グループホームあき		
所在地	松山市富久町1 4 3 番地 2		(電話) 089-924-6998
管理者	白神 敏恵		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成20年3月3日	評価確定日	平成20年4月14日

【情報提供票より】 (平成19年12月17日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成15年7月24日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤	9人, 非常勤 3人, 常勤換算 11.2人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	26,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3) 利用者の概要 (平成19年12月17日現在)			
利用者人数	16 名	男性 10 名	女性 6 名
要介護1	0 名	要介護2	0 名
要介護3	1 名	要介護4	6 名
要介護5	6 名	要支援2	3 名
年齢	平均 73 歳	最低 56 歳	最高 90 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

身寄りのない方等に関しては、日々の関わりから情報を得られるよう配慮されている。利用者個々に「困っていることは無い?」「嫌なことは無い?」「してほしいことは無い?」等、ご本人に尋ね、思いを聞き取れるよう心がけておられる。
 旬の食材を採り入れ、食事から季節を感じていただけるよう配慮されている。刻み食が必要な方には、皆と同じものを配膳されたあと、ご本人と相談してから背後で刻まれる等、細やかな配慮をされている場面もうかがえた。
 移動できる浴槽を用意しておられ、介護度重度の利用者の方でも、入浴できるよう支援しておられる。嫌いな方には、入浴後にどんな髪型に結うか、どんな洋服に着替えるかなどを一緒に決めることで、入浴をすっきりかけになるよう工夫しておられる。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の評価結果を受けて、日々の記録には、その日お話されたこと等を記録し、ご本人の思いの把握に努めておられた。
今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)
・自己評価の項目について、職員に聞き取りながら管理者がまとめられた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)
・回数は少ないが、ご家族や地域の方々の参加を得て、運営推進会議を行っておられる。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・第三者の苦情窓口を事業所の説明文書に明記しておられる。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・散歩時、近所のパラ園に立ち寄り、パラをいただいたり、学校帰りの小学生と会話されたり、ご近所の方に野菜をいただくこともある。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームあき

(ユニット名) ユニットA

記入者(管理者)

氏名

管理者 白神敏恵

評価完了日

平成 20 年 1 月 5 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 理念としては、以下のものを掲げ、目標としている。 ・私たちは、利用者本人の意思や個性を尊重したケアを提供します。 ・私たちは、利用者が『豊かで楽しい』生活を送れるようお手伝いします。		地域密着型サービスとしての理念を考える時がきているのかも知れない。新たな理念を作るか検討する。
			(外部評価) 利用者の生活を支えるための理念を作っておられる。		「地域密着型サービス」事業所として、事業所の理念について検討していくことを考えておられる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) ミーティングなど、事あるごとに啓蒙している。		
			(外部評価) 日々、ミーティングを行う際に、管理者は、理念の実践について話しておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 来訪されたご家族様や、遠く離れたご家族様にはお便りなどで、事業所の理念を理解していただいていると思っている。 地域の人々にはそこまで至っていない。		地域の方々には、地域活動を通して理解していただけるよう努力する。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩中など、ホームの前や外で近所の人と会った場合は、挨拶するようにしている。 気軽に立ち寄ってもらうまでには、至っていない。		地域活動を通して理解していただけるよう努力する。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地方祭に参加し、町内のお神輿をホームまで担いできてもらい、利用者に見せてもらったり、少しずつ認識され、地域交流も進んでいる。 (外部評価) 散歩時、近所のバラ園に立ち寄り、バラをいただいたり、学校帰りの小学生と会話されたり、ご近所の方に野菜をいただくこともある。		今後、町内会の集まりに出席され、地域行事を教えてください、積極的に参加していきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいることはない。		職員の負担を考え、今後の検討課題としたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 普段とは違う第三者の目で評価してもらい、新たな「気付き」を得る機会と認識し、サービス改善に努めている。 (外部評価) 自己評価の項目について、職員に聞き取りながら管理者がまとめられた。前回の評価結果を受けて、日々の記録には、その日お話されたこと等を記録し、ご本人の思いの把握に努めておられた。		サービス評価の仕組みを十分活かして、貴事業所のさらなる質の向上を目指していけるよう、取り組みの工夫が期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議では、利用者の状況・サービス内容・ 外部評価への取組みなど、よく話し合っているが、 会議の開催数は少なめである。		行政の指導の下、2ヶ月に1回開催できるように していく。
			(外部評価)		
			回数は少ないが、ご家族や地域の方々の参加を得て、 運営推進会議を行っておられる。		さらに、事業所が地域の中の公的な介護保険事業所と して、情報を発信できるような事業所独自の取組み を工夫していかれることが期待される。出席者から事 業所への意見が多く出されるようなアイデア等も検討 してみしてほしい。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			松山市高齢福祉課、介護保険課、生活福祉課の 担当職員といつでも相談、連絡できている。		
			(外部評価)		
			市の担当者から成年後見制度の説明をいただいたり、 生活保護受給者の支援に関して等、相談されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			制度の概要や、相談窓口を案内できるようにしてい る。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			絶対にあってはならない事なので、常々ミーティング などで話しあっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 丁寧に説明し、納得してもらっている。また、重要事項説明書を理解し、署名をいただくことでコンセンサスを得ている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情などがあった場合は必ず記録し、行政機関などの問い合わせに明示できるようにしている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎月の請求書といっしょに、暮らしぶりや健康状態をお知らせするお便りを送っている。金銭管理は日用諸経費を記した表を送付している。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情などがあった場合は必ず記録し、行政機関などの問い合わせに明示できるようにしている。		(外部評価) 第三者の苦情窓口を事業所の説明文書に明記しておられる。 さらに、今後もご家族の心情も踏まえて、ご家族から意見を出していただけるよう、工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎回のミーティングで各職員の発言機会を設け、業務上の気付いた点や、提案を取り上げている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整はできている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の待遇面の要望だけではなく、職員の悩みや相談を積極的に聞き、安心して勤務できる環境を構築している。		
			(外部評価) 離職した職員が事業所に遊びに来てくれることもある。現在は、職員の離職はほとんどなく、利用者と職員は馴染みの関係となっている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員のスキルアップの為の研修は、本人が負担に感じない範囲で、積極的に案内し、支援している。		
			(外部評価) 県GH協議会主催の職員研修に出席され、報告書を作成しカンファレンス時に発表し、研修内容を周知してもらえる。		さらに、すべての職員が段階に応じ研修を受講できるような仕組み作りが期待される。すべての職員のスキルアップで、貴事業所のさらなる質の向上を目指していかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			全国認知症グループホーム協会や、愛媛県グループホーム連絡協議会、各社会福祉協議会などの催し物には、できるだけ参加するようにしている。		
			(外部評価)		
		管理者は、外部研修等に積極的に出席され、情報を入手されている。又、他事業所とも交流し、情報交換等がされている。			
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			休日の希望にはできるだけ沿うようにしており、また職員の悩みや相談を聞き、安心して勤務できる環境を構築している。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			賞与の時期や必要な時は随時、各職員と面接し、各人の努力や勤務実績を公正に評価するようにしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			利用者が負担に感じない程度に、積極的に声かけをして、要望を聞いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族の要望を聞き入れ、情報提供書がある場合は、その情報を読み取り、こちらから提案している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 面接時に必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ホームに入居されても、ご家族の理解と協力が必要と考え、ご家族の負担にならないよう配慮した上で、サービス利用初期には頻繁に、来訪していただいたりしている。 (外部評価) 入居前、利用予定者が入院している病院に何度も会いに行き、ご本人やご家族ともゆっくりお話をされ、関係作りに努めておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 職員は日々の暮らしの中で、利用者と馴れ合いの関係にならないように注意し、ある程度の緊張感を持ちつつ、同じ目線で一緒に感動したり、悪いことは悪いと利用者をたしなめることができる位になるように努力している。 (外部評価) 歌のお好きな利用者に昔の歌を教えていただいたり、料理の得意な方から煮物や野菜の調理のコツを教えていただくこともある。		経験の浅い職員には、継続して啓蒙に努めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日常の来訪だけでなく、お花見や遠足など、ご家族に案内を送付し、できるだけ参加していただく事で、一緒に本人を支えていく関係を築いている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族に利用者の日常の表情の豊かな写真を送るなどして、家族関係の希薄な利用者と家族には支援している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの理髪店に連れて行くなどしてはいるが、十分でない。		馴染みの人や、旧友に手紙を出すように勧めるなど、支援していきたい
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者に主な担当介護職員を割り当て、利用者の日常生活を通して、利用者同士の関係把握に職員皆が努めている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) できていない。		退去された後も、介護の事など気軽に相談されるような関係作りを模索していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			介護支援専門員や介護職員が、日常生活での会話などを通して、本人の考え方や生活感の把握に努めている。		
			(外部評価)		
			身寄りのない方等に関しては、日々の関わりから情報を得られるよう配慮されている。利用者個々に「困っていることは無い?」「嫌なことは無い?」「してほしいことは無い?」等、ご本人に尋ね、思いを聞き取れるよう心がけておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			なるべく努めているが十分ではない。		利用者や家族の負担にならない範囲で積極的に聞き取りをし、把握に努める。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			利用者の健康状態や医療面での記録はしている。過ごし方や有する力等の現状は、サービス提供票の特記事項に記述するように心がけている。		継続して、記述し把握するように努力する。
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			利用者への聞き取り、主な担当介護職員からの提案を通じて、介護計画試案を作成し、さらにそれを見直して、介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			利用者、主治医、担当職員、ご家族の意見を聞きながら介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			介護保険証の有効期限の切り替え時はもちろんのこと、どの利用者も3ヶ月に1回介護計画の見直しをしている。また、必要と思われる時は、随時見直しを関係者と話し合い作成している。		
			(外部評価)		
			定期的見直しと状態に応じて随時の見直しを行っておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			ケアサービス記録はしているが、ケアの結果や気づきはなるべくサービス提供票の特記事項に記述するように心がけている。		継続して、記述し介護計画見直しに活かせるように努力する。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			家族に代わって、定期薬を取りに行ったりするなど、家族や利用者の状況を勘案して、柔軟に対応できている。		
			(外部評価)		
			利用者の行きつけの理容室を利用する際には、職員が同行されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員には、ホームの特徴、状況を把握していただいている。また、避難訓練の実施や、小学校の社会見学なども受け入れもっている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) できていない。		今後の検討課題としたい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) できている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ホームの指定協力医療機関はあるが、基本的に利用者、家族の希望の病院、医師に通院、往診をしている。		
			(外部評価) 利用者やご家族が希望されるかかりつけ医を受診できるよう支援されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 指定協力医療機関以外で、グループホームを自ら運営していらっしゃる医師とも、良い関係を築いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 介護職員に正看護師がおり、できている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 連携できている		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ホームには看取りの指針があり、終末期のあり方について、職員で話し合っている。実際そのような場合は、家族、主治医も交え、話し合っている。 (外部評価) 事業所の看取りの指針に基づき、利用者の希望も受けて支援しておられる。かかりつけ医が24時間いつでも対応していただき、連携を図って看取りの支援をされている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) できている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 住み替え先のケア関係者に情報提供を十分に行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			プライバシーを損なわないような扱いを日頃から心がけている。		
			(外部評価)		
			書類の公開などは利用者やご家族に必ず同意の確認を取っておられる。又、ご本人の状態に合わせて呼び方等にも気を付けておられる。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			支援できている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			共同生活が基本にあるので、全体的な時間配分に追われがちな場合がある。		一人ひとりのペースを大切に、希望にそって支援できるように工夫する余地はあると思う、今後の課題としたい。
			(外部評価)		
			散歩や買い物等、利用者の希望に沿っての支援に努めておられる。		利用者一人ひとりが、事業所でさらに心地よく暮らしていくための職員のかかわり方の工夫について、この機会に話し合われてみてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) できている。理美容店は、希望があればなるべく行けるようにしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の介護度・性格もあると思われるが、職員と一緒に準備や片付けができていない場合がある。 (外部評価) 旬の食材を採り入れ、食事から季節を感じていただけるよう配慮されている。刻み食が必要な方には、皆と同じものを配膳されたあと、ご本人と相談してから背後で刻まれる等、細やかな配慮をされている場面もうかがえた。後片付けを職員と一緒にされている方もおられた。		利用者のできる力を引き出す為にも、負担にならない範囲で一緒に食事を楽しむことができるように支援していきたい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) コーヒーやお菓子など欲しい物は、散歩と一緒に買いにいっている。タバコは消防署の指導もあり、タバコ自体には制限はないが、吸う場所とライターの管理はホーム側で行っている。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 支援できている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴日は決まっているが、本人の希望がある場合や必要と思われる状況の場合は入浴できるようにしている。		
			(外部評価)		
			移動できる浴槽を用意しておられ、介護度重度の利用者の方でも入浴できるよう支援しておられる。嫌いな方には、入浴後にどんな髪型に結うか、どんな洋服に着替えるかなどを一緒に決めることで、入浴をするきっかけになるよう工夫しておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			支援できている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			洗濯物を取り込んでもらったり、たたんでもらったり、食材の仕分けをしてもらったり、簡単な日曜大工を手伝ってもらったりしている。		
			(外部評価)		
			職員は、日曜大工が趣味の方と一緒にホームセンターに買い物に行かれたり、歌が好きな方と食後に一緒にいろいろな歌を歌ったり、園芸を楽しまれる等、個々の思いに沿って支援されている。又、洗濯物を取り入れ、たたんだり、ゴミ出しをしてくれる方もおられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			支援できている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			なるべく希望に沿えるように心がけているが、職員の配置や安全への配慮のもと、希望に添えない場合もある。		今度の検討課題としたい。
			(外部評価)		
			お花見やドライブ等、お弁当を持って出かけるようなこともある。又、近所への散歩や買い物にも出かけておられる。		さらに、事業所では、居室で長時間過ごされるような方も外出するような機会を、積極的に作っていきたいと考えておられる。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			家族がよく来訪される人は、家族と出かけるように支援している。家族があまり来訪されない人、身寄りのない人の場合、個別に行きたい所へ出かけることができるかぎり、配慮しているが、職員のボランティア的要素に頼っている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			支援している		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			馴染みの人が居心地よく過ごせるように、来訪中は職員の訪室を控えたりしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 取り組んでいる。 主治医の判断・指示で身体拘束にあたると思われる処置をする事もある。その場合、家族に説明し、同意書をもたうなど、行政のガイドライン、指導のもと対応している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 取り組んでいる。 (外部評価) 玄関は出入り自由で、職員は目配りし、利用者の自由な暮らしを支えておられる。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日常の利用者の健康状態の把握はもちろん、所在など把握している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) はさみなどの刃物や洗剤は、職員の目の届く所に配置している。また、ライターなどは消防署の指導により、職員が管理している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 取り組んでいる		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変時の報告連絡や医療機関との連携は日頃から確認している。また、年1回消防署員の指導の下、避難訓練を行っている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 近所の人々とある程度交流はあるが、災害時に協力してもらえないかはわからない。 (外部評価) 避難訓練以外に、避難についてのシミュレーションもされている。訓練を行い、介護度重度の方は布団では運び出すことが難しいことがわかり、簡易担架を一つ購入された。		より一層、地域の人々に協力を仰げるよう努力する。 災害時等、いざというときに地域と事業所が、相互に協力できるような体制作りに向けて、積極的に取り組まれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 健康な赤ちゃんをお預りするのではないので、容体が急変したりするリスクなど、理解してもらっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日のバイタルチェックはもちろんのこと、日常の表情や様子から、異変に気付けるように指導している。また、注意すべき点は、業務引継ぎの申し送りでも確認、記録している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬間違いを防止する為、薬の仕分けなどは特定の職員が行っている。利用者の薬への理解は全職員が取り組むようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便の有無など、利用者の担当職員が記録したりしている。特に水分補給には気を付けて記録し、後の働きかけの参考にしてている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 支援している。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量や水分補給は気を付けて記録し、後の働きかけの参考にしてている。 (外部評価) 各居室の入り口に設置されているご本人の日々の記録に、食事や水分量が記録されており、職員、ご家族、かかりつけ医等がいつでも確認できるようにされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 保健所の指導のもと、取り決めがある。インフルエンザ流行時期の職員のマスクの使用、台所・洗面所のタオルのペーパータオル化、使い捨てグローブの使用など。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 毎日のまな板やふきんの漂白消毒など取り決めがある。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関回りを適度に装飾し、親しみやすく工夫している。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 幼稚園的にならない程度に、季節感がわかる飾りつけや、大型水槽など工夫できている。 (外部評価) 居間には、季節の装飾が飾られていた。昼食後にテーブル席で利用者同士がおしゃべりを楽しんでいるような場面がうかがえた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共用空間で気のあった利用者同士で過ごせるような雰囲気づくりをしている。共用空間での1人になれる空間は構造上難しい。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			できるかぎり利用者本人が居心地よく過ごせるように、使い慣れたタンスなどを配置している。		
			(外部評価)		
			ご家族の写真や大好きな人形を飾っておられる方々、ぬいぐるみ等をベッドの周囲に飾っておられる方等、それぞれ個性がうかがえた。又、毎日亡きお母様の遺影前のりんを鳴らしておられた方は、現在ご自分でできなくなり、職員が引き継いで毎日りんを鳴らしておられる。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			できている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			トイレや風呂場への手すりの配置など、なるべく自立した生活ができるようにしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			できている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			建物の構造や敷地の関係で、評価不能。 以前は建物前の敷地に物干し台や縁台を置いていたが、離れた駐車場にあるホーム所有車や職員の車にいたずらによる器物損壊被害が頻発した為、警察の指導のもと現在は敷地内に車を停めている。		

自己評価及び外部評価票

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者1人1人に担当職員を決め、健康面以外のちょっとした日常の様子をメモしたりしてもらい、ケアプラン作成などの参考にしたりしており、暮らし方の意向も把握している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	忙しくない時間帯に、居室やリビングで話をしたり、将棋をしたりして、より一層コミュニケーションに努めている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食事と風呂の時間はホームの都合で行うことが多い。もちろん以前の生活に合わせた支援も行っている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	安全や人員基準の面で、希望にそえないこともある。家族さまが来訪される方については家族さまにお願いし、また支援している。家族と疎遠な方や身寄りの無い人は、職員のボランティア的な支援で補っている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	健康管理や医療面は、毎日記録をとり、医療機関との連携も密接にできている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	利用者家族の要望はよく聞いている、利用者や疎遠な家族にも積極的に働きかけをしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに ④ほとんどない	利用者に直接関係のない地域の人々が来訪することはほとんどない。

